

拝啓 昨夜はすっかりご馳走になり、ありがとうございます。

ほんの小一時間のつもりでしたが、お話が楽しく思わぬ長居となつてしまいました。奥様にもご迷惑だったと思いますが、豪華なお手料理までご馳走になり、そのうえお酒まで頂戴するとは、厚かましいにもほどがあると反省しております。

しかし、非は小生にあるだけでなく、奥様にもあります。あのようにな美味なご馳走を出されれば、だれでもすぐに席を立つことができせん。スパイシーで味わい深いカレーライス、皮の中までよく味のしみこんだ鳥の手羽焼き、昆布だしと鰹だしがよくきき、塩加減が抜群のお味噌汁は、小生の舌を翻弄するほどの極上の出来栄で、僭越ながら、これはうまい！と舌鼓を打ちました。

今度は妻とお伺いして、お料理の至芸を伝授していただければと思います。

とりあえず昨夜のお礼まで。

敬具